

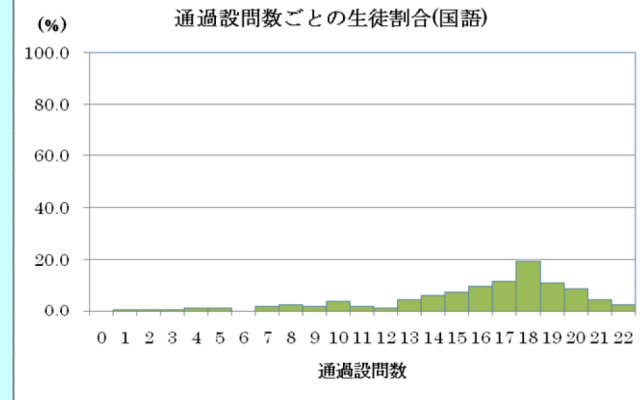
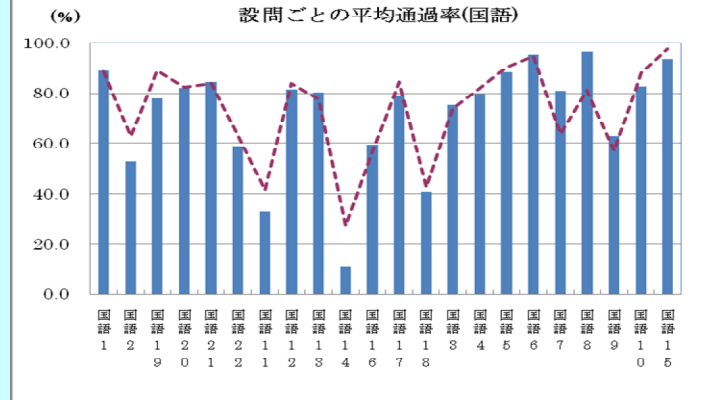
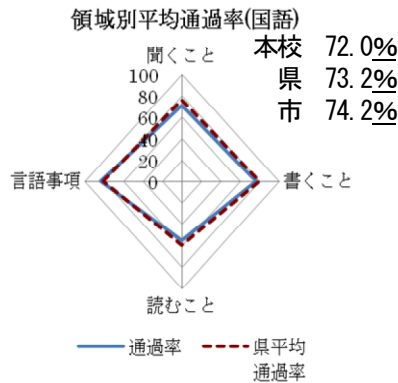
昨年度課題

- ①正確に問いを読み取ることができていない。
- ②段落の相互関係をとらえることができない。
- ③登場人物の心情を的確にとらえることができない。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①5W1Hを意識し、読んだり書いたりさせる。
- ②内容理解のあと、接続語に着目させながら段落の関係や構成について考えさせる。
- ③教科書以外の長文の練習問題も取り入れ、抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句を適切に読み取る力をつける。また、その記述から根拠を挙げながら、考えを述べさせる。《本年度の目標値 「読むこと」「書くこと」の通過率を各々2ポイント上げる。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎正確に問いを読み取ることができていない。
- ◎文章の展開に即して登場人物の心情を適切にとらえることができない。
- ◎文脈中の語句の意味、文章の構成や展開を正確にとらえ、理解することができていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

- 【国語科】①5W1Hを意識し、読んだり書いたりさせる。
- ②文学的文章の指導で、登場人物の心情が表れている言葉を手がかりに、心情やその変化をとらえさせる。また、読み取ったことを自分の言葉でまとめさせ、班内で交流させる。
- ③教科書以外の練習問題も取り入れ、文脈中の語句の意味や文章の構成・展開を適切に読み取る力をつける。
- 【全校・他教科等】・ドリル学習を通して基本的な問題の定着をはかる。
- ・記述式問題を定期試験に毎回出題し、正答率を高めるとともに、誤答分析をし、つまずきの状況を把握し、丁寧な授業づくりを行う。
 - ・「みる」「みる」「みせる」の取組を活性化させ、導入、発問の工夫を交流する。成果のあった実践は、各教科に取り入れる。

取組みの検証

- 時期 2月
- 方法 福山市調査問題
- 目標値 「読むこと」通過率50%

来年度の目標値

- 「基礎・基本」定着状況調査で県・市平均を目指す。
- 「読むこと」の通過率2ポイントを上げる。

授業改善シート〔数学〕

校番(6) 福山市立 幸千 中学校

昨年度課題

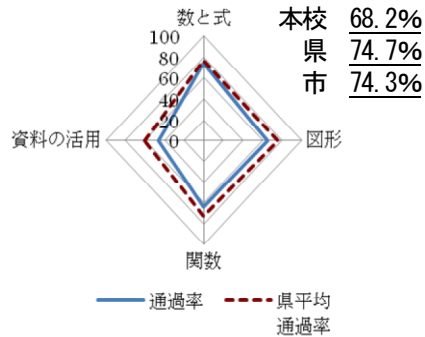
- ①文章題を解く手順として、イメージ図・線分図・ことばの式などで表現させて立式につながるように、丁寧に指導する。
- ②放課後ドリル学習の中に規則性に関する問題を出題し、考え方や解き方の定着を図る。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

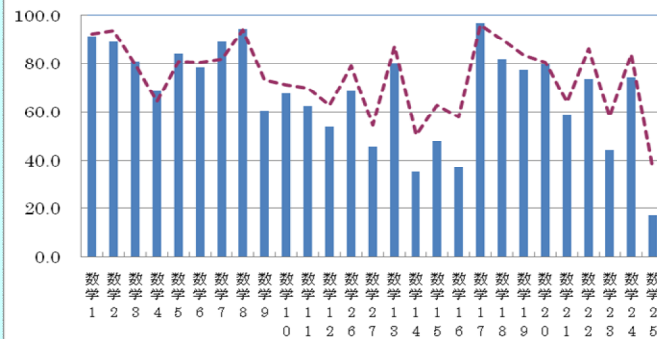
- ①文章題の解の書き方として、まず最初に考え方のスペースをとり、イメージ図・線分図・ことばの式などを重点的・丁寧に書けるスペースを確保した。
- ②規則性に関する問題を定期的に出題し、考え方の定着を図ると共に苦手意識を取り除いた。
《本年度の目標値：「関数」と「資料の活用」において通過率を県平均にする。》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率

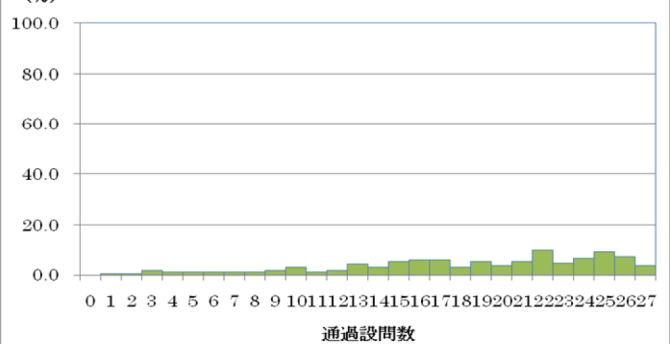
領域別平均通過率(数学)



設問ごとの平均通過率(数学)



通過設問数ごとの生徒割合(数学)



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎相対度数の求め方について、ほとんどの生徒が認識できてない。
- ◎「図形」において、おうぎ形の面積や角すいの体積の求め方などの計量と、立体の辺や面の垂直な関係を見いだすことが不十分である。
- ◎規則性に関する問題の考え方や解き方の理解が不十分。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業・家庭学習)

- 【数学科】
- ①「資料の活用」の指導において、表や図・グラフを利用して、相対度数等の内容の定着を図る。
 - ②「図形」において、おうぎ形の問題を解くときは元になる円をもとにして考えさせたり、具体物を使って実体験をさせながら、立体の計量や辺や面の関係を見いだしたりする。
 - ③午後学活を利用した放課後ドリル学習の中に規則性に関する問題を定期的に出題し、考え方や解き方の定着を図る。
- 【全校・他教科等】
- ・ドリル学習を通して基本的な問題の定着をはかる。
 - ・記述式問題を定期試験に毎回出題し、正答率を高めるとともに、誤答分析をし、つまずきの状況を把握し、丁寧な授業づくりを行う。
 - ・「みる」「みる」「みせる」の取組を活性化させ、導入、発問の工夫を交流する。成果のあった実践は、各教科に取り入れる。

取組みの検証

- 時期 2月, 3月 ○ 目標値: 80% 規則性の問題を65%クリア
- 方法 福山市調査問題

来年度の目標値

- 「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率80%, 規則性の問題を65%クリア

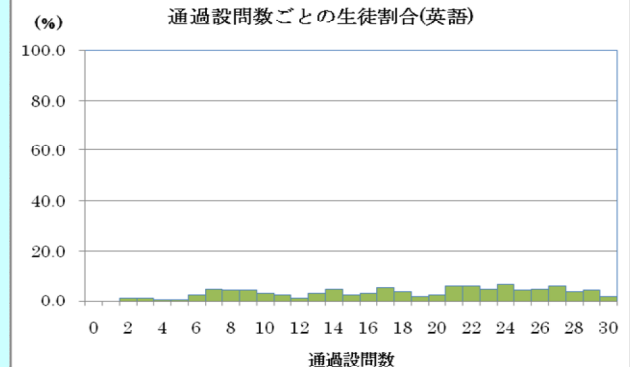
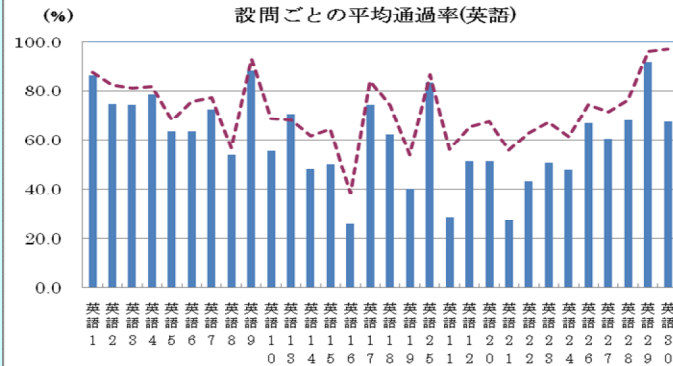
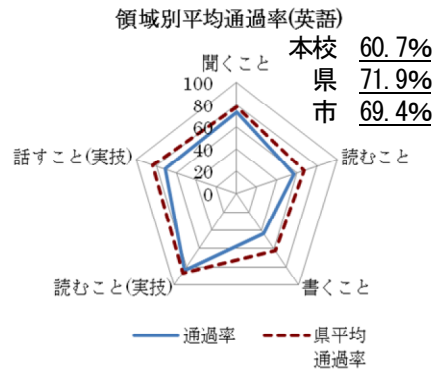
昨年度課題

- ①語彙力をつける。
- ②文の組み立てを理解し、正しく使うことが出来るようになる。
- ③文のつながりを考えて、英文を書くことが出来るようになる。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①語彙力をつけるために、単語・連語練習を授業に取り入れた。
 - ②肯定文、疑問文、否定文の作り方をペアワークで練習したり、ドリル練習を繰り返したりした。
 - ③英作文を書く活動を取り入れ、自分の気持ちを表現する場をより多く持った。
- 《本年度の目標値「読むこと」「書くこと」の領域で3ポイントあげる。》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎読むこと：適切な語を用いて文を作る力をつける。
話の流れをつかみ、読み取る力をつける。
- ◎書くこと：基本的な表現を用い、自分の考えや気持ちが正しく伝わるように書ける力をつける。
- ◎語彙力をつけ、基本的な文型、表現が書ける。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

- 【英語科】①語彙力をつけ基本的な文を作ることが出来るようになるために、基本文例の練習、単語練習をパターンを変えながら繰り返し書かせることで、定着を図る。
- ②長文問題を利用して文脈をつかむ学習を取り入れる。
- ③文のつながりを考えて、まとまった内容の英文を書かせる問題を提示し繰り返し行い、定着を図る。
- ④通過率30パーセント未満の生徒への支援を視野に入れた授業展開、個別指導を進める。
- 【全校・他教科等】・ドリル学習を通して基本的な問題の定着をはかる。
- ・記述式問題を定期試験に毎回出題し、誤答分析をすることによって、つまずきの状況を把握し、授業改善を行う。
 - ・「みる」「みる」「みせる」の取組を活性化させ、導入、発問の工夫を交流する。成果のあった実践は、各教科に取り入れる。

取組みの検証

- 時期 2月 ○目標値：書くことの領域で通過率を3ポイント上げる。
○方法：福山市調査問題

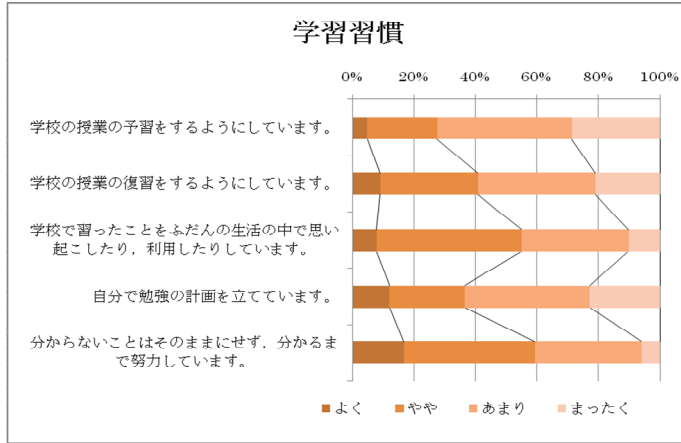
来年度の目標値

- 「書くこと」の領域の通過率を3ポイント上げる。
- 通過率30パーセント未満の生徒を10ポイントまで下げる。

1 生活・学習

授業改善シート〔質問紙調査〕

校番(6)番 福山市立幸千中学校

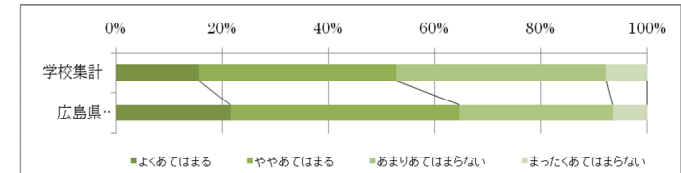


改善したい点(◎「基礎・基本」)	今後の具体的な取組みの内容
◎学校の授業の予習・復習が40%しかできていない。学校の授業で習ったことの復習や予習が家庭でできる。 ◎思考力やコミュニケーション能力が約50%の生徒が不足している。	・各教科の宿題の徹底。 ・あしあと(毎日の生活記録)を丁寧に点検し、家庭学習の定着を図る。 ・授業規律の確立を徹底し、研究部を中心に、導入、発問の工夫による学習意欲の喚起、思考の深まりのある授業づくりを推進する。

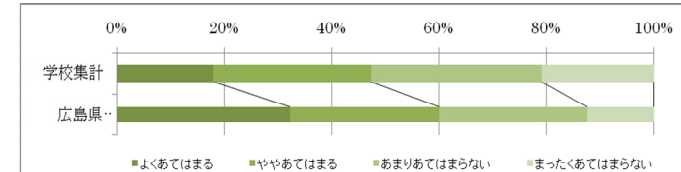
来年度の目標値	目標値
	・学校の授業の予習、復習をするようにしている生徒を60%以上にする。 ・ものごとを解決したり決めたりするとき、なぜそうなるのか理由を考える生徒を60%以上にする。

2 教科学習への意識

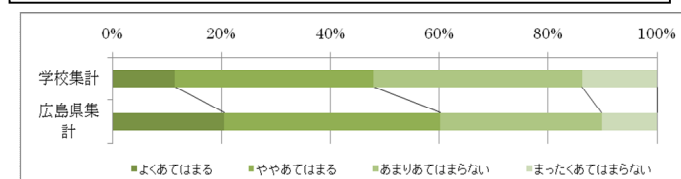
国語の授業では、場面の様子や移り変わり、人物の気持ちを表現している言葉や文に注意しながら、物語などの文章を読んでいます。



数学の授業では、おうぎ形の問題を考えるとときには、いつももとの円をもとにして考えています。



英語の授業では、英語で文章を書くときは、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書いています。



	生徒の回答と学校の指導についての課題(◎「基礎・基本」)	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	◎正確に問いを読み取ることが不十分である。 ◎文章の展開に即して登場人物の心情を適切にとらえさせる指導に課題がある。	・5W1Hを意識して読んだり、書いたりさせる。 ・登場人物の心情を読み取る際に、文章のどこを手がかりにして読み取ればいいのか考えさせる指導を行う。
数学	◎「図形」において、おうぎ形の面積や角すいの体積の求め方などの計量と、立体の辺や面の垂直な関係を見いだすことが不十分である。 ◎半円や四分の一の円を使って、弧の長さや面積と中心角の関係を考えさせる指導に課題がある。	・具体物を準備し、比例の関係を発見させる指導を行う。 ・表や図・グラフを利用して考えさせるとともに、班内、クラス内で他者の考え方を参考にする場面を多くする。
英語	◎適切な語を用いて文を作る力を付ける。 ◎場面や状況にあった表現方法をいくつか示して練習させる指導に課題がある。	・語彙力をつけ、基本的な文を使って、自分の考えを表現する英文をつくとともに、生徒同士が伝え合う場面を数多く設定し、定着を図る。

来年度の目標値	目標値
	・「学校へ行くのが楽しい」の肯定的評価を80%以上にする。

授業改善シート〔実施スケジュール〕

校番(6)番 福山市立幸千中学校

	～ 8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	・ Plan		・ Do			・ Check		・ Action			
	結果の分析・H22の改善計画の見直し H23の改善計画の実施				検証		次年度の計画				
全校・全教科	「みる」「みる」「みせる」の取組の必要性を確認	校内授業研究 授業観察票の記入・各学期5枚以上集める	校内授業研究 授業観察票の記入・各学期5枚以上集める			授業観察票の記入・各学期5枚以上集める		校内授業研究 授業観察票の記入・各学期5枚以上集める		学習集団づくりを再構築する	
		数英放課後ドリル学習	評価テスト			数英放課後ドリル学習	評価テスト			数英放課後ドリル学習	
国語	見られる弱点の洗い出し 「基礎・基本」定着状況調査に	5W1Hを意識した読み書き	内容理解を丁寧に行う。 記述から根拠を挙げながら、考えを述べさせる。		期末テストによる検証		調査問題実施・分析	調査問題結果解析	調査問題により明らかになった課題に対し、ピンポイントの取組を開始する。 ・ドリル学習 ・家庭学習の課題の提示		
数学		記述式問題や文章問題の立式の定着	具体物を用いた授業展開 規則性を見いだす授業展開		期末テストによる検証		調査問題実施・分析	調査問題結果解析			
英語		単元ごとに新出文型を使った英作文に取り組む。 単語練習ノート			期末テストによる検証		調査問題実施・分析	調査問題結果解析			
生活・学習	学習習慣確立の取組の必要性再確認	宿題内容の充実 2段階テスト発表	中間テスト計画表	期末テスト計画表	生徒アンケート実施・分析	「中学校生活の手引き」の改訂	学年末試験計画表			「中学校生活の手引き」の活用	

